

## 第2次環境基本計画と第3次環境基本計画の比較表（取組の目標・項目）

第2次計画（基本施策）		第3次計画（「取組の目標」と「取組の項目」）	第2次計画の該当部分	備考	
自然環境	A	吾妻山の保全と魅力の向上	【みんなが大好きな自然を守り、育てよう】		
	B	丘陵地や谷戸などの保全	・歴史に息づく緑の保全と創造	A+B	吾妻山や丘陵地などの昔からあるみどりの保全はまとめました。
	C	水と親しめる葛川の再生	・潤いを感じる水辺の保全と創造	C+D	葛川、二宮海岸は水辺とし、第2次計画ではその他の川は抜けているようなイメージになっていたの で、水辺はひとつ（全体を保全）としてまとめました。
	D	二宮海岸の保全と魅力の向上	【自然に生息する生きものを大切にしよう】		
	E	良好な自然を象徴する動植物の保全	・健全な生物多様性の保全	E	基本的に第2次計画と考え方は同じです。
生活環境	F	リデュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	【生活に息づくまちの風景を守ろう】		
	G	リユースやリサイクルの促進	・景観の保全	O	景観形成は重要な柱として見せるべきなので独立させました。
	H	ごみの適正な処理・処分の推進	・歴史・文化の保護		第2次計画では歴史や文化が位置付けられていませんでしたが、環境要素のひとつとして考えられるため新規に柱立てしました。
	I	不法投棄防止の推進	【環境に配慮しながら快適性を高めよう】		
地球環境	J	地産地消の促進	・計画的なまちづくりの推進	M+N+O	第2次計画ではまちづくり施策が分散されていましたが、わかりにくく整理が付きにくいので、ひとつにまとめました。
	K	省資源・省エネルギー活動の促進	【きれいで清潔なまちをつくろう】		
	L	自然エネルギーの活用	・環境美化の推進	I	第2次計画では不法投棄のみ柱立てされていましたが、まちの環境美化が柱でその中に不法投棄対策があるべきなので、再整理しました。
	M	緑化や雨水利用などによる環境の保全	【公害のないまちをつくろう】		
	N	環境保全による安全なまちづくり	・大気環境の保全	O	町の環境施策としては公害対策がまず基本であるはずなので、それらがしっかり柱立てされるように整理しました。
O	快適な生活環境の向上	・水質環境の保全	C	町の環境施策としては公害対策がまず基本であるはずなので、それらがしっかり柱立てされるように整理しました。	
		・騒音・振動の防止	O	町の環境施策としては公害対策がまず基本であるはずなので、それらがしっかり柱立てされるように整理しました。	
地球環境		【地球のことを考えて身近なことから行動しよう】			
		・CO2削減に向けた取り組みの推進	J+K	地産地消だけで柱立てするのは無理があるので、省エネを含む温暖化対策のひとつとしました。	
		・異常気象に備えた災害対策等の推進	新規	新規での位置付けになります。	
		【「つくる責任・つかう責任」を意識して、もったいないをなくしていこう】			
地球環境		・3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進	F+G	3Rとして何を取り組むのかとした方がわかりやすいと思いました。	
		【環境に配慮したまちづくりを進めよう】			
		・公共施設等の脱炭素化の推進	L	第2次計画と同様にはなりますが、表現が中途半端な感じでしたのでわかりやすくしました。	
		・適切なごみ処理の推進	H	基本的に第2次計画と考え方は同じです。	
活動の輪		【より良い環境について考え、取り組む人を育てよう】			
		・環境教育・学習の推進	新規	第2次計画でも記載がなかった訳ではないですが、明確に柱立てをしました。	
		・環境保全のための意識啓発活動の推進	新規	第2次計画でも記載がなかった訳ではないですが、明確に柱立てをしました。	
		【手を取り合い、大きな輪となって豊かな環境をつかみとろう】			
		・環境への想いを共有する場の創出	新規	第2次計画でも記載がなかった訳ではないですが、明確に柱立てをしました。	